



目指す府中の将来像

府中市が目指す将来像を総合計画で創り、その将来像への道筋を計画・ビジョンで示します。

スポーツ推進計画

健康ふちゅう21

地域福祉計画

障害者福祉計画

子ども・子育て支援事業計画

グランドデザイン

地域IoT実装計画

産業振興ビジョン

観光振興ビジョン

第3回目11月広報掲載

第2回目10月広報掲載

第1回目9月広報掲載

第4回目

府中市グランドデザイン

～府中の本物（まんなか）を感じ、「楽しみ」「暮らせる」まち～

みんなで“リノベーションまちづくり”の浸透

「まちづくり」は、行政だけが行うものではなく、日々の暮らしの中で一人ひとりが始められるものです。自分のまちで楽しく暮らす工夫を続けることで小さな芽が市内に広がり、このまちを変えていくことがリノベーションまちづくりに繋がっていきます。

「楽しみ」「暮らせる」まちを目指して

府中市では、『府中の本物（まんなか）を感じ、「楽しみ」「暮らせる」まち』という将来像を掲げ、さまざまな取り組みを行っていきます。また、皆さんの自主的な活動を積極的に支援します。グランドデザインで示した将来イメージを共有し、これからの府中市が「楽しみ」ながら「暮らせる」まちとなるよう、一緒に創り上げていきましょう。

グランドデザインの「キーワード」

- やっぱり大好き、府中 ～シビックプライドの醸成～
- 府中のイイところ。売り出し中！ ～シティセールス～
- 手をつなぎ、知恵を寄せ合う官民の輪 ～官民連携～
- 来てよし！住んでよし！の府中 ～新たな価値の創造～

グランドデザインとは？

グランドデザインは、ヒト・モノ・情報などを周辺部から中心市街地に集積し、活性化させるための役割と集積した活力を効果的にまち全体へ展開させ、まち全体の成長につなげる役割を併せ持つ計画です。

グランドデザインの背景・目的

府中市のまちなかには、府中の始まりである備後国府や、その後続く近世・近代に至る歴史・文化、時代の風情やまちなみが、まち全体に本物の魅力として残っています。

また、府中の近代産業の発展を支える、屈指の技術力を有する企業が数多くある中で、「来てみたい」「住んでみたい」と思ってもらえるまちを目指し、市民、企業、まちづくり団体と行政などが目指すべき将来像に向かって、方向性を共有し、それぞれの役割を担いながら着実に取りみを進めていくことを目的とします。

多様な人々の交流・滞在によるアクティビティエリア (出口地区～本町商店街周辺地区)



分散型宿泊施設と交流サロンのイメージ

20～30年後の将来の過ごし方イメージ



恋しきなど、府中市の近代を語る歴史的な建物がまちなみと一体的に活用されている。古民家が宿泊施設や店舗、交流サロンなどの人が訪れやすいようにリノベーションされ、多くの人々が訪れたいエリアと交流し滞在を楽しんでいます。

多様な人々の交流・滞在によるアクティビティエリア (出口地区～本町商店街周辺地区)

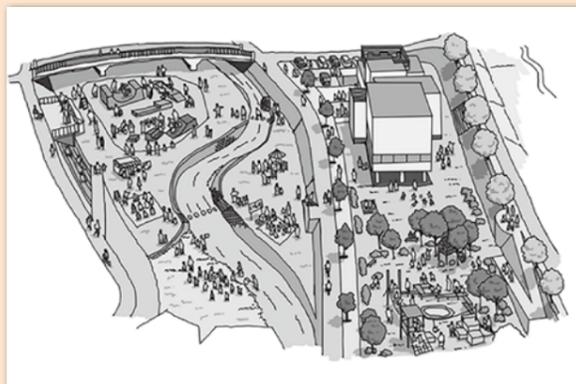
歴史・文化的記憶の継承エリア (はじまりの広場～備後国府周辺地区)

府中駅のリニューアルや周辺の公共施設などの集積・複合化に合わせて公共空間を整備し、空きビルなどの活用も進み、楽しんで歩ける街なみとなっています。

にぎわいと交流のエリア (府中駅周辺地区)

道の駅びんご府中を中心に、大型商業施設や子育て支援施設が連携した賑わい拠点になり、子育て世代から高齢者まで多世代が交流し日常をいきいきと過ごしています。

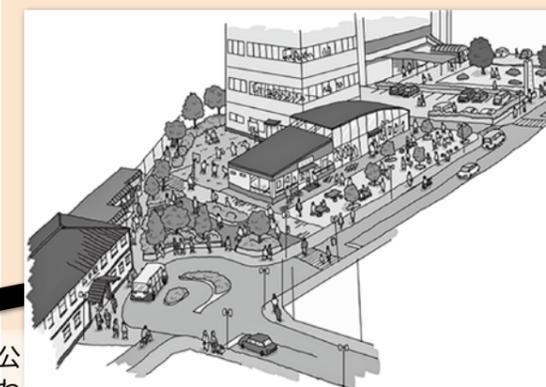
子どものMIRAI創造エリア (こどもの国～芦田川河川敷周辺地区)



こどもの国のイメージ

こどもの国施設と一体で周辺が整備され、子どもたちや家族が平日、休日も集まり、アウトドアやアスレチックなどを楽しむエリアです。

にぎわいと交流のエリア (府中駅周辺地区)



JR府中駅前広場および図書館などの知の拠点のイメージ



JR府中駅と一体となった道の駅周辺の多世代交流のイメージ